

自然災害発生時における業務継続計画

(障害福祉サービス類型:通所系)

法人名	学校法人英数学館 EISU みらい塾	種別	障害児通所支援事業
代表者	加計 悟	管理者	平 恵津子
所在地	福山市吉津町 12-27	電話番号	084-973-0301

第Ⅰ章 総則

Ⅰ 目的

本計画は、大地震等の自然災害や感染症のまん延などをはじめとした突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、又は中断せざるを得なくなった場合であっても可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順等を示すものである。

2 基本方針

本計画に関する基本方針を以下のとおりとする。

- | |
|-----------------------|
| ① 利用者及び職員の生命を守る。 |
| ② 継続的・安定的なサービスの継続をする。 |

3 主管部門

本計画の主管部門は、学校法人英数学館 放課後等デイサービス EISU みらい塾とする。

第Ⅱ章 平時からの備え

Ⅰ 対応主体

管理者の統括のもと、関係部門が一丸となって対応する。

2 対応事項

対応事項は以下のとおり。

項目	対応事項		
(2) 体制構築・整備	☐ 体制構築・整備に係る体制の構成員（別紙 様式1）		
	担当者職	対策本部における職務（権限・役割）	
	山中 一郎	対策本部長	・統括（緊急対応に関する意思決定）
	平 恵津子	事務局長	・統括のサポート ・対策本部の運営実務の統括 ・関係各部署への指示
	仙石 祐子 川口 碧斗 野口 利三	事務局メンバー	・副本部長のサポート ・関係各部署との窓口
(2) 情報の共有・連携	☐ 情報共有（連絡）先（行政機関） ・福山市障がい福祉課 Tel :084-928-1062 Fax:084-928-1730 ・福山市保健所 保健予防課 Tel :084-928-1127 Fax: 084-921-6012		
(3) リスクの把握	必要な情報収集と感染防止に向けた取組の実施 ☐ ハザードマップなどの確認 福山市 HP ハザードマップ （ハザードマップ - 福山市ホームページ (city.fukuyama.hiroshima.jp)		
(4) 被災想定	南海トラフ巨大地震で想定される地震被害は、福山市では最大震度6強、液状化が起こる可能性が高い地域の割合は12.2%、津波による浸水は3.0m以上4.0m未満となる地域もあるとされており、広島県内でも福山市は大きな被害が想定されている。 〈ライフライン〉広島県 ☐ 断水人口 直後 1,069,382 人 1 日後 1,046,761 人 1 週間後 893,730 人		

	☐ 下水道支障人口 直後 779,794 人 I 日後 779,794 人 I 週間後 779,794 人 ☐ 停電軒数 直後 119,836 軒 I 日後 9,529 軒 I 週間後 0 軒 ☐ 固定電話不通 直後 78,806 回線 ☐ 携帯電話不通 ほとんど影響なし
(5) 職員対応 (事前調整)	☐ 職員の確保 ・職員の現在の出勤状況と今後休む可能性を検証したうえで下記の事項を検討、実施する。 ・人手不足が発生することが見込まれる段階で、法人内で応援を要請する。 ☐ 相談窓口の設置 英数学館本部(電話:082-546-1311) EISUみらい塾(電話:084-973-0301) ※職員の不安やストレスの軽減が目的(事業所内又は法人内に設置)
(6) 業務調整	☐ 運営基準との整合性確認 ・業務を重要度に応じて4段階に分類し、出勤状況を踏まえ縮小・休止する。利用者の健康・身体・生命を守る機能を優先的に維持する。 ○業務 A:継続業務 ・個別療育、保護者相談等 ○業務 B:追加業務 ・感染予防、感染拡大防止の観点から新たに発生する業務 ○業務 C:削減業務 ・小集団活動等 ○業務 D:休止業務 ・事務管理業務、研修・各種委員会活動等 詳細は別紙 様式7
(7) 研修・ 訓練の実施	☐ BCP の共有 業務継続計画(BCP)作成後は、全職員への説明会を行うなど、周知に努める。

	☐ BCP の内容に関する研修 毎年6月頃、BCP の内容に関する研修を行い、実施内容を記録する。 ☐ BCP の内容に沿った訓練 年 3 回 (6 月、9 月、12 月) の各種避難訓練及び年 1 回の消火訓練を実施する。
(8) BCP の検証・見直し	☐ 課題の確認 最新の動向を把握し、研修・訓練等を実施して課題を洗い出す。 ☐ 定期的な見直し 定期的に BCP を見直し、更新する。
(9) 建物・設備の安全対策	☐ 建物 旧耐震基準設計のもの ☐ 設備 書庫 転倒防止対策を施す 消火器 定期点検の実施
(10) 電気が止まった場合の対策	☐ 情報機器 ラジオ (乾電池) での情報収集を行う ☐ 冷蔵庫 暑さ対策として保冷剤を準備しておく ☐ 証明器具 懐中電灯 (乾電池) ☐ 冷暖房器具 電力会社の復旧を待つ、寒さ対策として毛布・カイロを利用
(11) 通信が麻痺した場合の対策	☐ 固定電話 1 台 ☐ 職員個人の携帯電話 4 台 (全員ライン可) ☐ バッテリーの購入予定
(12) システムが停止した場合の対策	☐ データは HDD (NAS Navigation2) でバックアップする。 ☐ 重要書類は紙でも保管する。
(13) ガスが止まった場合の対策	☐ 給湯設備 復旧を待つ
(14) 水道が止まった時の対策	☐ 飲料水 1 人 6L (3 日分) を確保する。(12m ³ 貯まる受水槽有) ☐ 生活用水 1 人 6L (3 日分) を確保する。(12m ³ 貯まる受水槽有)
(15) 衛生面 (トイレ等) の対策	☐ トイレ対策 簡易トイレ及び消臭固形剤を備蓄しておく。 電気・水道が止まった場合には速やかに簡易トイレを設置し使用する。 ☐ 汚物対策 排泄物などは、ビニール袋に入れて消臭固形剤を使用して密閉し、利用者の出入りのない空間へ衛生面に留意して隔離、保管しておく。消臭固形剤を使用した汚物は、燃えるごみとして処理が可能である。

第Ⅲ章 緊急時の対応

I BPC 発動基準

【地震による発動基準】

福山市周辺において、震度6強以上の地震が発生し、被災状況や社会的混乱を総合的に勘案し、管理者が必要と判断した場合、所長の指示により BPC を発動し、対策本部を設置する。

【水害による発動基準】

- ・大雨警報（土砂災害）、洪水警報が発表されたとき。
- ・台風により高潮注意報が発表されたとき。

所長の不在の場合は、代行者が全体統括業務を遂行する。

役割	担当者	代行者
全体統括	山中 一郎	平 恵津子

2 行動基準

項目	対応事項
(1) 発生時	☐ 自身及び利用者の安全確保 ☐ 二次災害への対策（火災や建物の倒壊など） ☐ 連携（事業所間連携、行政、関係機関連携） ☐ 情報発信（利用者家族安否情報、事業所情報）

3 災害対策本部

以下の役割を担う者を構成メンバーとする対策本部を構成し、業務を遂行する。

役割	担当者	代行者
本部長	山中 一郎	平 恵津子
指揮統括	平 恵津子	野口 利三
情報収集班	川口 碧斗	平 恵津子
消火班	野口 利三	川口 碧斗
救護班	仙石 祐子	平 恵津子
安全指導班	川口 碧斗	仙石 祐子
地域班	野口 利三	川口 碧斗

4 対応事項

災害対策本部の任務は以下のとおり。

項目	対応事項
(1) 本部長	☐ 災害対策上重要事項の決定、指示、命令を行う。
(2) 指揮統括	☐ 災害応急対策の実施全般について一切の指揮を行う。
(3) 情報班	☐ 行政と連絡をとり、正確な情報の入手に努めるとともに適切な指示を仰ぎ、管理者に報告するとともに、利用家族へ利用者の状況を連絡する。活動記録をとる。
(4) 消火班	☐ 地震発生直後直ちに火元の点検、発火の防止に万全を期すとともに、発火の際には消火に努める。
(5) 救護班	☐ 負傷者の救出、応急手当及び病院などへの搬送を行う。

(6)	安全指導班	☐ 利用者の安全確認、施設設備の損傷を確認し、北濃くする。管理者の指示が		
(7)	地域班	☐ 地域住民や近隣の福祉施設と共同した救護活動、ボランティア受入れ体制の整備対応を行う。		
(8)	対応拠点	第1候補場所	第2候補場所	第3候補場所
		療育室	職員室	並木学院福山高校事務室
(9)	安否確認	利用者	【安否確認ルール】 震災発生時は、電話、SNS等にて利用者の案おい確認を行う。預かり時に負傷者が発生した場合には応急処置を行い、必要な場合は有木医院と連携をとる。 【医療機関への搬送方法】 119番通報による	
		職員	【施設内】 利用者の安否確認と合わせて行い、所長に報告する。 【自宅等】 ☐ 自宅等で被災した場合（自地域で震度5強以上）は、1 電話、2 SNS、3 災害用伝言ダイヤルで施設に自身の安否情報を報告する。 ☐ 報告する事項は、自身、家族が無事かどうか、出勤可否を確認する。	
(10)	職員の参集基準	☐ 震度5強以上の揺れが発生した場合は、職員から事業所に連絡をとり、30分以上連絡が取れない場合は、安全を確保しながら参集する。 ☐ 自ら又は家族が被災した場合や、交通機関、道路などの事情で参集が難しい場合は、参集はしなくてよい。		
(11)	避難方法	☐ 利用者がある場合は、安全に留意しながら利用者の誘導を行う		
	【施設内】	☐ 避難場所を大声で周知しながら集合する。 ☐ 天井からの落下物に留意する。 ☐ 避難時は極力、靴をはく。		

(12) 避難方法 【施設外】	☐ 避難時は靴をはく。 ☐ 利用者がいる場合は、安全に留意しながら利用者の誘導を行う。 ☐ 車や落下物に注意する。 ☐ 避難にあたっては、事業所内に残された人がいないか、大声で確認しながら避難する。 ☐ 車椅子の人は、極力複数で補佐する。 ☐ 応急手当セットを持ち出す。 ☐ 車両での避難は、負傷者、病弱者、年少者を優先する。
(13) 重要業務の 継続	事業所への出勤目安人員に合わせて、業務を継続していく。 ☐ 職員の出勤目安 1日目 1名(常勤職員4名中) 4日目 3名(常勤職員4名中) 8日目 4名(常勤職員4名中) 詳細は別紙様式7
(14) 職員の管理	☐ 職員が長期帰宅できない状況の場合 休憩場所:休憩室(和室) 宿泊場所:休憩室(和室)、並木学院福山高等学校体育室、 福山駅近隣のビジネスホテル ☐ 勤務 可能な限り全員出勤 出勤数に応じた業務を行う

(15) 復旧対応	☐ 建物・設備の破損箇所の確認をする。 【建物・設備】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>状況(いずれかに○)</th> <th>対応事項/特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>躯体被害</td> <td>重大・軽微・問題 なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気</td> <td>通電・不通</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水道</td> <td>利用可能・利用不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>通話可能・通話不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>インターネット</td> <td>利用可能・利用不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公用車</td> <td>利利用可能・利用不可</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 【室内】 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>ガラス</td> <td>破損、飛散・破損 なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>キャビネット</td> <td>転倒 あり・転倒 なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>落下 あり・被害 なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>床面</td> <td>破損 あり・被害 なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁面</td> <td>破損 あり・被害 なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>照明</td> <td>破損、落下あり・被害なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象	状況(いずれかに○)	対応事項/特記事項	躯体被害	重大・軽微・問題 なし		電気	通電・不通		水道	利用可能・利用不可		電話	通話可能・通話不可		インターネット	利用可能・利用不可		公用車	利利用可能・利用不可		ガラス	破損、飛散・破損 なし		キャビネット	転倒 あり・転倒 なし		天井	落下 あり・被害 なし		床面	破損 あり・被害 なし		壁面	破損 あり・被害 なし		照明	破損、落下あり・被害なし	
対象	状況(いずれかに○)	対応事項/特記事項																																						
躯体被害	重大・軽微・問題 なし																																							
電気	通電・不通																																							
水道	利用可能・利用不可																																							
電話	通話可能・通話不可																																							
インターネット	利用可能・利用不可																																							
公用車	利利用可能・利用不可																																							
ガラス	破損、飛散・破損 なし																																							
キャビネット	転倒 あり・転倒 なし																																							
天井	落下 あり・被害 なし																																							
床面	破損 あり・被害 なし																																							
壁面	破損 あり・被害 なし																																							
照明	破損、落下あり・被害なし																																							
(16) 業者連絡先 一覧	<table border="1"> <thead> <tr> <th>業者名</th> <th>連絡先</th> <th>業務内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中国東和事務機器株式会社</td> <td>084-931-1717</td> <td>コピー機</td> </tr> <tr> <td>サンエス</td> <td>084-960-1139</td> <td>コピー機サービス実施店</td> </tr> <tr> <td>ユニマツライフ</td> <td>084-973-3866</td> <td>ウォーターサーバー</td> </tr> <tr> <td>電気(中国電力株式会社)</td> <td>0120-511-542</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水道(福山市水道局 総務課)</td> <td>084-928-1530</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	業者名	連絡先	業務内容	中国東和事務機器株式会社	084-931-1717	コピー機	サンエス	084-960-1139	コピー機サービス実施店	ユニマツライフ	084-973-3866	ウォーターサーバー	電気(中国電力株式会社)	0120-511-542		水道(福山市水道局 総務課)	084-928-1530																						
業者名	連絡先	業務内容																																						
中国東和事務機器株式会社	084-931-1717	コピー機																																						
サンエス	084-960-1139	コピー機サービス実施店																																						
ユニマツライフ	084-973-3866	ウォーターサーバー																																						
電気(中国電力株式会社)	0120-511-542																																							
水道(福山市水道局 総務課)	084-928-1530																																							
(17) 情報発信	情報発信にあたっては、法人を含む合議を踏まえて行う。発表にあたっては、利用者及び職員のプライバシーにも配慮する。																																							

5 他施設との連携

(1) 連携体系の構築

英数学館本部、並木学院福山高等学校との連携をしている。

(2) 地域のネットワーク等の構築・参画

【連携関係のある施設・法人】

英数学館本部	082-546-1311	
並木学園福山高等学校	084-982-7329	

【連携関係のある医療機関】

有木医院	084-922-1333	広島県福山市本町1-1-103
------	--------------	-----------------

【連携関係のある社協・行政・自治会等】

福山市障がい福祉課(指導担当)	084-928-1261	
福山市社会福祉協議会	084-928-1330	

(3) 連携対応

① 事前準備

- ☐ 被災時の連絡先、連絡方法
- ☐ 備蓄の拡充
- ☐ 利用者受入れ方法、受入れスペースの確保
- ☐ 相互交流 など

② 利用者情報の整理

作成済み利用者個人ファイルを利用する。

③ 共同訓練

並木学院福山高等学校と共同で避難訓練の実施(年1回)

6 地域との連携

(1) 被災時の職員の派遣

災害対策委員会で、今後検討する。

(2) 福祉避難所の運営

災害対策委員会で、今後検討する。

7 通所サービス固有事項

【平時からの対応】

サービス提供中に被災した場合に備え、緊急連絡先の把握にあたっては、複数の連絡先や連絡手段(固定電話、携帯電話、メール等)を把握しておく。

平常時から、地域の避難方法や避難場所に関する情報に留意し、地域の関係機関(合成、自治会、事業所団体等)と良好な関係を作るよう工夫する。

【災害が予想される場合などにおいては、サービスの休止・縮小を余儀なくされることを想定し、予めその基準を定めておくとともに、利用者やその家族にも説明する。

【災害発生時の対応】

サービス提供を長期間休止する場合は、必要に応じて、他事業所のサービス等への変更を検討する。

利用中に被災した場合は、利用者の安否確認後あらかじめ把握している緊急連絡先を活用し、利用者家族への安否状況の連絡を行う。利用者の安全確保や家族への連絡状況を踏まえ、順次利用者の帰宅を支援する。その再、送迎車の利用が困難な場合も考慮して手段を検討する。北区にあたっては利用者家族の協力も得る。

関係機関とも連携しながら事業所での宿泊や近くの避難所への移送等で対応する。

<更新履歴>

更新日	更新内容	更新者
令和6年2月1日	作成	平岡 昌子
令和6年4月1日	新規採用職員 加筆	平 恵津子
令和6年5月1日	退職職員 削除	平 恵津子
令和6年6月1日	理事長の交代	平 恵津子

<添付：別紙様式1～5>

更新日	様式名
様式1	推進体制の構成メンバー
様式2	事業所外連絡リスト
様式3	職員緊急連絡網
様式4	備蓄品リスト
様式5	業務分類（優先業務の選定）